

# 明るさセンサーの使い方

## 明るさセンサーについて



micro:bitのLEDを使って光の強さを測ることができます。街の街灯等の動きをプログラムで再現することができます。光の強さは【0～255】までの数値で設定します。

## 明るさセンサーに対応するブロック

### 対応ブロック

入力

明るさ

明るさブロック

### 他のブロックとの組み合わせ例

基本

論理

文字列を表示

明るさ

明るさ

<

100

他のブロックの  に組み込んで使います。

## プログラミング

### ●micro:bitのLEDに、明るさセンサーで測った光の量を表示する

基本

入力

文字列を表示

と

明るさ

を組み合わせた場合

ずっと

文字列を表示

明るさ

micro:bitのLEDに、光の強さを表示させることができます。表示される光の強さは、【0～255】の間の数値で表示され、明るいほど大きな数字で表示されます。  
※2ケタ以上の数字は、右から左へ数字が流れるようにして表示されます。



はじめは必ず【255】が表示され、その後は継続的に読み取った光の強さが表示されます。

### ●測った明るさが設定した数値未満なら、micro:bitのLEDにアイコンを表示させる

論理

0

<

0

入力

もし

なら

と

明るさ

を組み合わせた場合

ずっと

もし

明るさ

<

100

なら

アイコンを表示



測った光の強さによって、micro:bitのLEDにアイコンを表示させるプログラムです。

右図のプログラムでは、明るさが100未満の場合アイコンが表示されるようにプログラムされています。

明るさの数値は【0～255】までの数値で設定できます。

論理ブロックの数値、不等号を変更することで受ける明るさの範囲等の条件を変えることができます。



アイコンを表示させるブロックは、他の様々なブロックに切り替えることができます。